

後援会長挨拶

試練を糧として

本年度3年目の後援会会長を仰せつかりました土屋です。

保護者並びに大学関係者の皆様には、日頃より後援会活動へのご理解、ご支援を頂き、この場をお借りして感謝申し上げます。

本来なら学生の皆さんは、コロナ禍が収束し試練の1年間を乗り越え、新たな気持ちで新学年の生活を迎えるはずでした。しかし4月に3回目となる東京都の緊急事態宣言発令のため、第2クォーターまではオンライン型授業の状況が続き、キャンパスの入構規制も続いています。対面授業・実験・研究及び部活動やサークル活動等、本来の学生生活が1年半余り停滞状況に陥っています。しかしこの現状から逃避することなく、新たな学習・生活方法と捉え、プラス面を最大限活用し、知識・教養の向上を期待します。また健康なくして勉学もありませんので、適度な運動を取り入れてください。

令和の幕開けは、大学の創立90周年と後援会設立31年目を迎え、新時代に沿った改革を目指し次の10年に向かい櫂を繋いで行くことでしたが、コロナ禍で社会を含め大学も大混乱に陥りました。これほどの試練は想像もできませんでした。しかしこの情勢下で大学関係者の皆様には、教育現場の機能を守るべく、日夜問わずご尽力頂き改めて感謝申し上げます。

更に学生の皆さんは、限定されたオンライン環境下の中で、リモート学生アシスタントチーム「vRSA」(バイアールエスエー)により就学に不安を感じる新入生を対象としたピアサポート活動を展開し、また課外活動団体への勧誘活動を行うプラットフォームも学生の力でSNSアプリのLINEに構築されました。これは大学の建学理念(公正・自由・自治)に従った自主活動そのものです。また横浜キャンパスではオンライン学園祭に挑戦して頂きました。素晴らしい諸活動に感動致しました。

一方私の職場環境は、テレワークでの在宅勤務、時差出勤、リモート会議や講習会の縮小開催及び総会等の書面決議の状況が継続しています。働き方改革が一気に加速した状況です。

この試練を糧として正常な環境に戻った際には、学生生活を思いっきりエンジョイしてください。また社会の求める人材は、柔軟な感性を持った人材です。この経験で得た知識が必ず生かされるはずで、更に大学の特徴であるTAP(国際人材育成プログラム)の参画による国際人としての活躍も期待します。

後援会としても学生の皆さんの生活環境や自主活動等の支援に、最大限努めて参りますので、保護者・大学関係者の皆様からも忌憚のないご意見等を頂ければ幸いです。

コロナ禍が早期に収束し、試練を成長に活かす学生生活を送れることを祈念して挨拶とさせていただきます。



東京都市大学後援会 2021年度会長 **土屋 良直**